

2018年3月2日 金曜日

ナイトセッション

1日目の夜にナイトセッションがホテルメルパルク松山で開催された。4つのテーマが並列に行われ、300名以上の方が講演に参加し白熱した議論が行われていた。



テーマ1 FinTech、および仮想通貨
(座長：岩下直行氏)



テーマ2 ブロックチェーンと仮想通貨取引所のセキュリティ
- 攻撃者の視点から (座長：楠正憲氏、西尾素己氏)



テーマ3 中小企業のサイバーセキュリティ意識向上のため
に (座長：古川佳和氏、小松靖直氏)



テーマ4 IoTセキュリティへの課題
(座長：村島 正浩氏、平井 成海氏)

湯沢・白浜プレゼン



「サイバー犯罪における白浜シンポジウム」について石井秀明実行委員長からご紹介を頂いた。今年は2018年5月24日（木）～5月26日（土）に開催する予定である。3月の始めに4回の申込のチャンスがあるので（1回目は開始3分で終了）この機会を逃すことなくお申し込み下さい。

(<http://www.riis.or.jp/symposium22/>)



「情報セキュリティワークショップ in 越後湯沢」について一戸実行委員長、花田副委員長、落合副委員長からご紹介を頂いた。今年は2018年10月5日（金）～10月6日（土）に開催する予定である。参加申し込みは7月開始予定である。(<http://anisek.jp/yuzawa/>)

講演(2)



フジテック株式会社常務執行役員 友岡 賢二氏および株式会社ラック代表取締役社長 兼 執行役員社長 CTO 西本 逸郎氏により、「IoTプラットフォームが考えるセキュリティ 経営目線でのセキュリティアプローチとは ～セキュリティを言い訳に事業機会を失っていませんか？～」というテーマで講演が行われた。ビジネスでテクノロジー活用が進まない

のはなぜかをセキュリティの視点から検討した。日本でテレワークやクラウドサービスなどの導入が進まないのは情報漏洩が心配されているという調査がある。重要なのは、セキュリティを理由として技術導入をためらうのではなく、ビジネスの成功させるために技術を活用することであると述べられていた。